【ヒヤリ・ハット事例集】

平成27年3月に実施しました「産業廃棄物処理におけるヒヤリ・ハット事例」の調査結果をとりまとめたものです。

ご協力に感謝申しあげます。今後の業務の参考にしていただきますようお願い致します。

【収集運搬】　運転　ヒヤリ・ハット No.1

発生状況（何がどうした）
駐車場を出ようと左折する直前、左側からトラックと乗用車が走っていたが、突然後ろを走る乗用車が追い越しをかけヒヤッとした。

発生原因（なぜ）	再発防止対策（どうした）
後ろの乗用車が追い越しをかけるとは思わなかった。	左右確認を十分に行い、常に「ゆとり」運転を心掛ける。

【収集運搬】　運転　ヒヤリ・ハット No.2

発生状況（何がどうした）
市電と並走しながら運転中に、対向車（市電にかくれて見えない）が、直前右折し市電と自車の前を横断しヒヤッとした。

発生原因（なぜ）	再発防止対策（どうした）
死角（市電にかくれ見えない）から車がくるとは思わなかった。	何がおきるか判らない状況のため、防衛運転を心掛ける。

【収集運搬】　運転　ヒヤリ・ハット No.3

発生状況（何がどうした）
前を走行していた車が、方向指示器を出さないまま突然左折した為、追突しそうになり急ハンドルを切った。

発生原因（なぜ）	再発防止対策（どうした）
車両は方向指示器を必ず出してから曲がると思いこんでいた。	前方を絶えず確認し、適正に車間距離を取り、だろう運転をしない。時間に余裕を持って移動する。

【収集運搬】　運転　ヒヤリ・ハット No.4

発生状況（何がどうした）
狭い路地を走行中、前方の左筋から一時停止を無視した車が飛び出し、衝突しそうになった。

発生原因（なぜ）	再発防止対策（どうした）
優先道路へ進入する車両は、一時停止をするだろうと思いこみ。	予測運転を実施するとともに、狭い路地や見通しの悪い場所はすぐに止まれるスピードで運転する。

【収集運搬】　運転　ヒヤリ・ハット No.5

発生状況（何がどうした）
右折車線で待機中、対向車線の大型トラックが行き過ぎたので発進したら、後続の単車と衝突しそうになった。

発生原因（なぜ）	再発防止対策（どうした）
大型トラックの死角で、まさか単車が走っているとは思わず状況の判断が甘かった。	右折車線では対向車線の死角や右からの横断者を見落としがちなため、充分な左右確認とゆとりを持った運転を心掛ける。

【収集運搬】　運転　ヒヤリ・ハット No.6

発生状況（何がどうした）
片側一車線の道路を走行中

発生原因（なぜ）	再発防止対策（どうした）
道路右側を歩いていた年配の女性が、こちらを見ずに車の前を横切りヒヤリとした。	来るかもしれないと思い、徐行して走行してたので良かった。歩行者優先を心掛け、余裕を持って運転する。

【収集運搬】　運転　ヒヤリ・ハット No.7

発生状況（何がどうした）
交差点で赤信号になった為、停車しようと徐行したら、前の車両が赤信号にもかかわらず、そのまま直進した。その直後、進行してきた対向車に衝突した。

発生原因（なぜ）	再発防止対策（どうした）
目の前で起こった事故に対し、自分が当事者だったらと思うとヒヤリとした。	青信号で進行する際も決して油断せず、「かもしれない」運転をこころがける。自分では防げない事故もあるが、普段から注意を払って運転する。

【収集運搬】　運転　ヒヤリ・ハット No.8

発生状況（何がどうした）
積込み作業が終わり、車に乗って移動しようとしたとき

発生原因（なぜ）	再発防止対策（どうした）
ごみ袋が破けていて、中からサラダ油がこぼれているのに気づかず踏んでしまい、車に乗った際ブレーキのペダルを踏んだら滑った。	ゴミの中には何が入っているか分からないので、注意して作業を行う。良く周りを見て行動する。ウエスなどで拭く。

【収集運搬】　積み込み　ヒヤリ・ハット No.9

発生状況（何がどうした）
引き取り終了後、トラックにシートをかけようとゴムベルトを引いたら切れてヒヤッとした。周囲に人がいなくてよかった。

発生原因（なぜ）	再発防止対策（どうした）
・ゴムベルトが劣化していた ・必要以上に強く引いたかも	・点検をしてから作業する。 ・必要以上に強く引かない。

【収集運搬】　積み込み　ヒヤリ・ハット No.10

発生状況（何がどうした）
荷を積み込む際にフォークリフトの爪かけを行っていた時、荷の向きを変える為フレコンの紐を引っ張った際、フレコンが破れて後方に転倒しそうになりヒヤリとした。

発生原因（なぜ）	再発防止対策（どうした）
・フレコンバックの劣化。 ・劣化したフレコンバックの1ヶ所に力が加わったから。 ・KY不足。	・作業前の危険予知の為、必ずフレコンバックの状態を確認する。 ・フォークリフトを使用する。

【収集運搬】　荷卸し　ヒヤリ・ハット No.11

発生状況（何がどうした）
産廃箱の荷下ろしをする際、空の産廃箱を車両の横に置き、荷台に載り作業を行っていた。荷台の上でバランスを崩して空の産廃箱で手の甲を打ち負傷した。

発生原因（なぜ）	再発防止対策（どうした）
トラックの荷台で作業を行う際に落下防止措置をとっていなかった。	トラックの荷台上で作業する際は、安全帯等により落下防止措置をとる。また、車両の周りに不必要な物を置かない。

【収集運搬】　荷卸し　ヒヤリ・ハット No.12

発生状況（何がどうした）
相手と息が合わず、積荷と荷台の前に指を挟みそうになった。

発生原因（なぜ）	再発防止対策（どうした）
お互いに、個々の作業のみを優先しすぎるあまり、意志の疎通が無かった。	声をかけ確認しながら作業する。

【その他】　運転　ヒヤリ・ハット No.13

発生状況（何がどうした）
3t車にて一般道路を走行中、やや見通しの悪いカーブを曲がった先に車が停車していた。片側1車線の狭い道路だったが、対向車も無く安全と思ったところ、曲がった先に停車しているとは考えなかったのでヒヤリとした。

発生原因（なぜ）	再発防止対策（どうした）
・停車車両のルール違反	・運転中は安全速度を遵守し、「かもしれない」運転を心掛け、安全運転に努める。

【その他】　運転　ヒヤリ・ハット No.14

発生状況（何がどうした）
片側一車線の道路を走行中

発生原因（なぜ）	再発防止対策（どうした）
バッグに入れていた携帯が鳴り出し、バックに手を伸ばした瞬間に前の車が停車しており衝突するところだった。	運転中は、必ず車を駐車してから電話をとる。交通の流れの状況及び前方を注意し車間距離を確実にとる。

【その他】　積み込み　ヒヤリ・ハット No.15

発生状況（何がどうした）
廃パレットをトラックに積み込む際に、パレットを手で移動し整理していたら、釘が出ているパレットがありヒヤリとした。

発生原因（なぜ）	再発防止対策（どうした）
・廃棄パレットのため、腐食や傷んでいるものがあった。 ・注意不足。	・廃パレットの取扱いは充分確認し行う。 ・出来るだけフォークリフトを使用する。

【その他】　積み込み　ヒヤリ・ハット No.16

発生状況（何がどうした）
出荷原料のフレコンバックに出荷ロットをスプレーで書き込む為にノズルを押した時、自分の方へ噴射された。 ノズルの向きは合っていたが、突然の事だったのでヒヤリとした。

発生原因（なぜ）	再発防止対策（どうした）
・スプレーのノズルが詰まっていたため。	・KY不足。 ・スプレーを使用する前にノズルの状態を確認する。 ・試し噴射してから使用する。

【その他】　重機運搬　ヒヤリ・ハット No.17

発生状況（何がどうした）
粘土質土の付着したバックホーを運搬し荷卸しをする際に、踏み掛け版の上で滑り機体が転倒しそうになった。

発生原因（なぜ）	再発防止対策（どうした）
キャタピラ部分の清掃を行っていなかった為、粘土質土が付着したままになっていた。	キャタピラ等に付着した粘土質土はきれいに取り除く。積込みや荷卸しを行う場所は水平で堅固な場所で行う。

【その他】　重機運搬　ヒヤリ・ハット No.18

発生状況（何がどうした）
建設廃材を積み込み後、ロープ掛けのため荷台（廃材）を移動中バランスを崩し、転倒しそうになった。

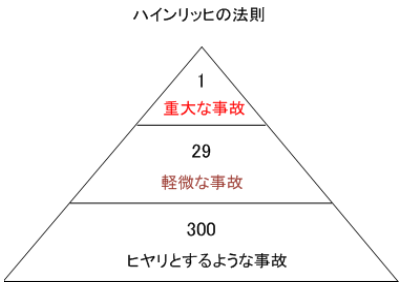
発生原因（なぜ）	再発防止対策（どうした）
廃材の積み込み後は、荷の安定が悪いにも関わらず、足元の確認を怠っていた。	廃材積み込み後の荷は不安定なことを認識し、作業開始に合わせ指先呼称の励行と不用意な移動をさける。

【その他】　配管内作業　ヒヤリ・ハット No.19

発生状況（何がどうした）
汚水管の詰り確認のため、管内カメラで原因を調査中

発生原因（なぜ）	再発防止対策（どうした）
開いているインバート枡につまづいた。小さな穴だったため落ちずにすんだがヒヤリとした。	開けた場所の確認と枡を開けた作業以外の枡は閉める。開けた状態で作業する場合は、セーフティコーンを置いて安全対策をとる。

〝ハインリッヒの法則〟

『1：29：300』という法則があります。『1つの重大災害の下には、29の軽傷事故があり、その下には300の無傷事故がある』という意味で、労働災害の 事例の統計を分析した結果、導き出されたものです。

これをもとに『1件の重大災害（死亡・重傷）が発生する背景に、29件の軽傷事故と300件のヒヤリ・ハットがある』という警告として、安全活動の中で多く採り上げられる言葉です。